

第6学年特別活動シラバス

6年生ではこんな学習をします

特別活動はどのような学習なのでしょう

望ましい人間関係を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

学級活動はどのような活動なのでしょう

<学級活動はこのようなねらいで活動します>

学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上に資する活動を行います。

<学級活動には次のような活動内容があります>

学級や学校の生活の充実と向上に関すること

学級や学校における生活上の諸問題の解決や学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団生活の向上のための活動を行います。

日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること

希望や目標をもって生きる態度の育成、基本的な生活習慣の育成、望ましい人間関係の育成、清掃などの当番活動の役割と働くことの意義の理解、学校図書の利用、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成のための活動を行います。

<次のような資質や能力を育てる活動です>

望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成

活動の目標を全員でつくり、協力して実践する過程で一人一人が役割を分担し、社会生活を営む上での基本的なモラルや社会生活上のルールを身につける。

個人的な資質の育成

多様な集団を編成し、集団活動に積極的に取り組ませることにより、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための基礎を培う。

社会的な資質の育成

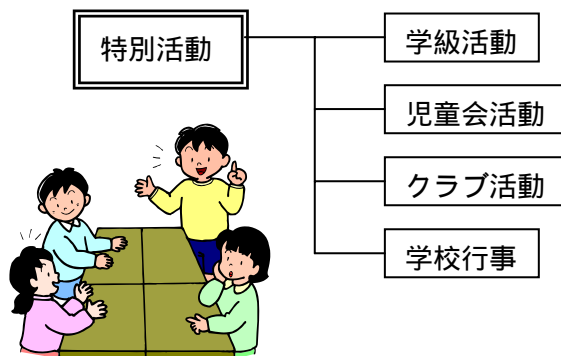
様々な集団活動を通して所属意識をもち集団の一員としての自覚をもって生活の向上のために進んで貢献していこうとする社会性の基礎を育成する。

自主的、実践的な態度の育成

一人一人が意識して努力したり、自ら高めたり、伸ばしたりすることができるようにする。

自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う

集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする多様な集団活動を通して、望ましい認識をもてるようにするとともに集団の中で自己を生かす能力を養う。



学級活動は他の教科と異なり、通知票などで示す評価はありません。しかし、時間割にはどの学年でも、週1時間が割り振られており、授業として年間最低35時間(1年生は34時間)は実施しています。学級活動は大きく二つの内容に分かれます。一つが「学級や学校の生活の充実と向上に関する内容」で、もう一つが「日常生活や学習への適応および健康や安全に関する内容」です。

前者は主に教師の指導のもとに、児童が自ら考えたり話し合ったりします。後者は学校生活や行事に合わせ、教師が計画的に指導内容の重点化を図りながら進めていきます。

評価には現れませんが児童がこれらの活動を通して集団の一員としての望ましい資質や能力が育っているか、さらに、問題の解決を通して人間としての生き方の自覚を深め、自己を生かす能力が養えたか等を評価していきます。多くは、教師の観察や、面接、質問紙によるものや児童自身の自己評価を参考にして総合的に評価をしていきます。

また、活動そのものがどうであったかを振り返る観点としては、「話し合うべき事項に対する意見が多く出されたか」「手順良く効率的に活動が進行したか」「多くの意見を取り上げることができたか」「実践に向けて具体的な点が決定されたか」等があげられます。



自己決定したことに対する自己評価や友達同士の相互評価、担任による観察や質問などで評価します。

数値などによる評価は行いません。